

令和 6 年度まちづくり達成状況報告書（総括シート）



① 総合計画上の位置付け

施策の大綱	Ⅵ 産業振興
施策の目標	1. 産業間の融合により、6 次産業化を進める 2. 環境と共生し、付加価値を生み出す農業を育てる 3. 雇用を高め、賑わいをもたらす商工業・観光を振興する

② 施策と関連部署

施策	施策内容：事務事業名（関連シート No.）	関連部署
アグリサイエンスバレー・道の駅常総	・道の駅を核とした賑わい創出と観光地域づくりの推進：観光地域づくり事業（No.100） ・道の駅を核とした地域産業の活性化、地産地消・6 次産業化の推進：6 次産業化推進事業（No.101）	農業政策課
農業	・農地の利活用：農地集積事業・土地改良事業（No.103） ・担い手農家の育成：担い手育成支援（No.104） ・環境と共生した農業の推進：農業分野におけるカーボンニュートラル（No.105） ・農業経営の強化：経営所得安定対策事務（No.106）	農業政策課
商業	・商品・サービス提供事業者の支援、中小事業者に対する支援、企業と連携した生活環境の維持：商工業の振興（No.107・109-1） ・まちの賑わいの創出：賑わい創出事業（No.108）	商工観光課
工業	・企業立地に対する支援、起業・創業の支援：起業・創業、企業立地促進事業（No.109-2・113）	商工観光課
企業誘致	・産業用地の創出：産業用地創出事業（No.110）	都市計画課
観光・交流	・観光振興の強化、観光資源の整備、観光商品の開発：観光業の推進（No.111） ・フィルムコミッションを通じた発信の強化：フィルムコミッション事業（No.112）	商工観光課
雇用	・雇用・就労の支援：雇用安定対策事業（No.114）	商工観光課

③ 主要成果指標

① 常総市内を目的地とした観光入込客数【単位：人】（No.100・111）	（概要）
2021 年度：106,500 2023 年度：1,744,300 2024 年度：3,103,600 2027 年度目標：3,200,000	〈取組〉デジタルサイネージ（電子広告）の活用や地域周遊イベントの実施により、地域周遊の好循環の創出に向けた情報発信や周遊促進に努めました。
道の駅常総をはじめとした圏央道常総 IC 周辺施設の開業やアウトドアシティの推進などにより、市内を訪れる観光客数を間接的に表している指標である経路検索回数の増加を目指します。 ※国が運営する地域経済分析システムに掲載されていた常総市内を目的地とした経路検索の回数を指標としていましたが、データの取得ができなくなったことから、今後は、市内を訪れる観光客数の指標として、常総市内を目的地とした観光入込客数【単位：人】（茨城県営業戦略部観光戦略課発表）としました。	〈方向性〉道の駅常総への来場者をアグリサイエンスバレー全体及び市内周遊に更に広げるため、道の駅常総来場者の人流データを分析し、効果的な情報発信、周遊に繋がる仕組みを検討し、市全体の観光入込客数増加及び賑わい活性化を図ります。
② 道の駅常総の年間来場者数【単位：人】（No.100）	（概要）
2021 年度：－ 2023 年度：1,862,137 2024 年度：2,946,836 2027 年度目標：1,000,000 既に目標を達成しましたので新目標を設定しました→2027 年度新目標：年間 3,000,000	〈取組〉目標を大幅に超える来場者数への交通渋滞対策として、交通誘導看板の設置及び ASV 進出企業と交通対策会議を実施し、来場者の渋滞緩和及び ASV 進出企業の業務への支障の改善を図りました。また、交通渋滞改善による来場者の回転率の向上とともに、指定管理者によるメディア戦略及び魅力的な商品開発等、及び民間集客施設である TSUTAYA ブックストアやお湯むすびとの相乗効果により、令和 5 年度に比べて、約 1.5 倍（約 300 万人）の来場客数を達成することが出来ました。
本市の観光拠点である「道の駅常総」では、運営に民間企業のノウハウを取り入れること、周辺施設と連携したイベントを開催することなどにより誘客効果を最大化して、現在の交流人口や賑わいの継続を目指します。 ※来場者数の集計方法については、2024 年 4 月末まではレジ通過者数で計上し、2024 年 5 月以降、AI 人流解析（道の駅入口等にてカメラの顔認証機能を用い計測）で計上しています。	〈方向性〉道の駅常総来場者の人流データを分析し、ニーズに沿った運営を進め、更なる来場者数の増加を目指し、税收アップに繋がります。
③ 市が関与するアウトドアイベント参加者数【単位：人】（No.111）	（概要）
2021 年度：15,536 2023 年度：42,829 2024 年度：57,571 2027 年度目標：28,000 既に目標を達成しましたので新目標を設定しました→2027 年度新目標：75,000	〈取組〉吉野公園の整備やあすなろの里を含むアウトドアイベント等の実施、情報発信の強化を進め、関係・交流人口の増加に繋がりました。
首都圏近郊でありながら豊かな自然環境を有するという本市の強みを生かし、「アウトドアシティ」として屋外で行う体験型活動を積極的に推進することで、関係人口の拡大を目指します。	〈方向性〉地域の観光スポットなどについて、磨き上げを進め、周遊ルートや体験イベントなどの拡充を図ります。